



1992年に開始した「三菱電機 SOCIO-ROOTS（ソシオルーツ）基金」は、従業員からの寄付に対して会社が同額を上乗せ（マッチング）し、社会福祉施設や団体に拠出する「マッチングギフト制度」です。善意の寄付を倍にするこの基金には、毎年、全国の事業所で多くの従業員が参加しており、2022年3月時点で累計約2,300件、金額にして約14億4,000万円を寄付しています。当基金が生まれたきっかけは、「香典返しを是非、福祉施設で役立ててもらいたい」という従業員の強い申し出でした。そのような善意を会社としても大切にしたい、何かバックアップできないかと検討を重ねた結果、1992年に基金を立ち上げました。設立当初からご協力いただいている各都道府県の共同募金会には、寄付先の紹介をはじめ、地域ニーズ把握などの面で活動をサポートいただいています。一人一人の思いやりが大きなサポートとなり、社会で多くの笑顔の花を咲かせられるよう、「草の根的な募金活動」という意味を名前に持つ当基金は、地域に根ざした活動を続けていきます。

以上、三菱電機株式会社ホームページより引用しました。

三菱電機 SOCIO-ROOTS（ソシオルーツ）基金⇒

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/sustainability/philanthropy/welfare/socio-roots/index.html>